

昭和十四年

自七月十六日
至七月二十五日

第二次ノモンコン事件
陣中日誌第五号

歩兵第七十一聯隊

高

哈爾哈河右岸
高地附近

陣中日誌

第五号

歩兵第七十一聯隊調製

2-197

1494

七月十六日

晴
口高地

一 作為セル命令

1. 長作命第七十六號長野支隊命令(一九三〇)
2. 會報

一 野砲兵用電話線ハ黒色ノモノヲ使用シ

アルニ依リ往々ニシテ敵ノ電話線ト誤

認サレ友軍ノ爲ニ切斷サレシ事アリ各

隊ハ十分注意スベシ

ニ 乾パンノ罐其他日光ニ反射スルモノハ

草葉天幕等ニテヨク偽裝シ敵ニ目標ヲ

與ヘザル如クスベシ

三 兵器ノ手入ハ毎日正午確實ニ行ハシメ

1

2-198

1495

幹部ハ検査ヲ勵行スベシ
 如何ナル場合ト雖モ一ツノ壕ニ二人以
 上入ルベカラズ壕ノ間隔ハ六歩以上離
 隔セシムベシ
 五 敵陣ニ到達シタル場合ハ陣地構築ノ状
 況ヲ研究スルト共ニ鹵獲品ノ蒐集ニ努
 ムベシ
 六 敵ノ砲撃間ハ掩壕内ニ入り絶対ニ損害
 ヲ受ケザル様注意スベシ
 3 日々命令
 一 弘中少尉以下ニ八名本十六日追及到着
 ス依テ各々原所屬ニ入ルベシ
 二 將來部隊行動發起時ニ於ケル個人給養
 裝備ハ左ノ通りトス

依テ各本部各隊ハ十五ヨリ十七日ニ至
 ル三日間ノ補給糧秣ヲ以テ速ニ右給養
 裝備ヲ充實スベシ尙將來給養困難ナル
 場合ヲ慮ラズンテ現在ノ殘餘糧秣ヲ投
 棄スルカ如キハ絶對ニ嚴禁ス

左記

乾パン 五食

精米 四食

携帶罐詰 三個

携帶燃料 二個

食塩 若干

二 戦闘ノ景況戦中詳報ノ如シ

三 使用地圖

ノ滿洲及蒙古十萬分ノ一圖呼倫貝爾八號

甘珠爾廟

2 哈爾哈河道傍戰場圖(第一)其ノ三四五六

四人馬ノ移動

現在員

1 將校

七六

戰死

ナシ

戰傷

ナシ

行方不明

ナシ

補充

ナシ

戰死

一八

戰傷

一七

行方不明

ナシ

補充

ナシ

戰死戰傷

ナシ

行方不明

ナシ

補充

ナシ

2. 准士官以下

七二

3. 馬匹

一六

五 給養衛生

赤痢患者未ダ其ノ跡ヲ絶タズ續發ス依テ
隊ハ下痢患者ニ一定ノ便所ヲ設置使用セシ

七月十七日

快晴
河口高地

一 作為セル命令

一 長作命第七十七號長野支隊命令(二六四五)

二 日々命令

一 陸軍歩兵少尉

柳 樂 義 定
品 川 精

頭書、通り支隊次級副官ヲ免命又	免同	四命歩兵少尉	殺勲六等授瑞寶章(六月十七日附)	同	三陸軍主計少尉從七位勲七等	二陸軍歩兵少尉	歩兵第七十一聯隊附仰付(六月十九日附陸軍省)	歩兵第七十一聯隊附被免歩兵第二十一聯隊補充隊附被仰付(六月二十二日附陸軍省)	
彌	坂上益	日山	荒木良雄	正八位勲七等	池畑福直	藤井利雄	坂本敬三	谷本忠三	牛尾政義

五 歩兵大尉

歩兵少尉

同

歩兵准尉

歩兵曹長

同

歩兵軍曹

同

歩兵上等兵

右本白追及到着ス後

ルバシ

六 歩兵衛生兵

歩兵同

歩兵同

神代庄吉

島田初雄

山本廣吉

兒玉史郎

戸谷自佐郎

青木満好

佐久間満

吉泉光

佐々木伊八郎

各々原清入

遠藤

上園

喜元

茂

右頭書ノ中隊ニ轉屬ヲ命ス

歩兵中佐 東 栄 治

明十八日事務連絡ノ為九時迄、師團司令部ニ出頭スベシ

3. 會報

一、今次ノモンハン方面ニ派ケル外蒙軍ト

ノ紛争事件ヲ在ノ如ク命名セララル

第一次ノモンハン事件

自五月十三日
至六月十八日

第二次ノモンハン事件

自六月十九日
至事件解決

ニ資源ノ關係上爾後携帶燃料ノ空罐(蓋共)

ヲ回収用セララルニ付キ各隊給興係ハ

之ヲ取纏メ置キ糧秣配給時新品ト引換

ヘシニ經理委員ニ返納スベシ

三、最近戰場ヨリ海拉爾等へ幸便ニ托シ通

信スルモノ増加シ其通信文中又ハ入院
中ノ傷病者ニシテ戦況或ハ戦友等ノ戦
死傷ノ状況ニ就テ口外シ爲ニ部隊ヨリ
遺族ヘノ通知ト齟齬シタル事例アリ各
隊幹部ハ右ニ関シ充分教育指導ヲ徹底
スベシ
四 今次作戦ノ重要作戦命令ニシテ敵ニ入
手セラレタル如キ情報アルニ鑑ミ機
秘密ノ嚴守ニ関シテハ特ニ注意スベシ
之ガ爲作戦ノ分配セルモノ、保管ニ関
シ注意ヲ倍蕪スルコト
又命令受領者ニシテ口達命令ヲ筆記セ
ル場合傳達セバ速ニ焼却スルコト
尙且候連絡者等ノ機秘密書類印刷物等

5

一、携行ニ関シ特ニ注意スベシ
 五人員馬匹車輜ノ分散ニ関スル處置ハ米
 タ不徹底ニシテ無益ノ損害ヲ蒙リタル
 事例歎カラズ更ニ分散秘匿ノ度ヲ大ニ
 シ損害ノ減少ヲ期スベシ
 六各部隊ノ戦病死者ノ遺骨ハ當分ノ間將
 軍廟ニ存置シ該地ニ於ケル慰靈祭舉行
 後各部隊駐屯地ニ歸還スル如ク定メテ
 三戦鬪ノ景況戦士詳報ノ如シ
 四人馬ノ移動
 一、九、三〇衛生隊山本少尉外四十五名來着シ
 岩岡中尉以下三十六名ト交代ス
 二、一、三、三〇鷹司部隊長以下戰場ニ到來ス

3 現在員
一 將校

七九

二 准士官以下

一七六〇

三 馬匹

一一六

五 給養

給水班ハ支隊本部第二大隊第三大隊ニ分屬

補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ

七月十八日

晴
山高地

シ各担任部隊ノ給水ニ任ジ第一線ハ井戸ヲ
 鑿掘シ給水状態良好ナリ
 一日一回安田火佐ノ指揮スル糧秣輸送トラッ
 ク十輛到着シ給養ハ良好ナリ
 六十三時三十分古賀中尉左ノ重火器ヲ輸送到
 着シ直々ニ一部ヲ第二大隊ニ支給戦力頓ニ
 向上ス
 KIA TA 三門
 一門
 弾薬輸送用車輛五台中三台破壊ソル
 lg MG 一銃 二銃

1506

一 受領セシ命令

師團ニ出向セル東中佐歸來攻撃方針ヲ受領

シ爾後ノ作戰根本方針ヲ齎セリ

二 作為セル命令

一 長作命第七十八號長野支隊命令(二七三三)

2 日々命令

歩兵准尉

梅田三郎

歩兵曹長

本田清吉

歩兵單曹

林九十九

同 元廣卓爾

補充員受領ノ爲明十九日將單廟ニ派遣ヲ

命ス

依テ當日七時患者輸送自動車ニ便乗シ出

發スベシ梅田准尉ハ補充員ヲ受領セバ之

3.

會報

ヲ指揮シ砲火ノ攪害ヲ被ラサルコトニ努
 メ速ニ歸隊スベシ歸路ノ輸送ニ関シテハ
 行軍ト隊定スルモ一應師團司令部ノ指示
 ヲ受クルモノトス携帯口糧三日分ヲ携行
 スベシ

- 一 佐賀縣知事ヨリ將兵一同ニ對シ感謝ノ
 電報アリタリ
- 二 ノモハン湖アブダラ湖其ノ他河川ニ敵
 機ハ彈藥投下ト共ニ赤痢菌ヲ撒布セリ
 水ノ使用ニ関シ注意スベシ
- 三 防牒上注意ヲ要スベキ紙片等ノ採取燒
 却ニ付キ尚一層勵行ヲ要ス
- 四 荷造札箱書キ等不用意ノ間ニ放置ニア
 ルモノアリ注意ヲ要ス

三. 使用地圖 前日ニ同シ

四. 入馬ノ移動

現在員

1. 將校

七八

2. 准士官以下 一七四五

戰死

戰傷

行方不明

補充

戰死

戰傷

行方不明

補充

戰死

戰傷

ニ

シ

シ

シ

一

ニ

シ

八

七

六

冬二十三時支隊ニ移立少佐以下第一大隊

3. 馬匹

一一一

復歸シ兵員充實ノ為志氣大ニ昂ル
五戦闘ノ景況戦闘詳報ノ如シ

七月十九日

山口高地

一 受領セル命令

攻撃ニ関スル第二十三師作命

二 作為セル命令

ノ日々命令

一 第五中隊歩兵少尉

山本廣吉

同 歩兵曹長

高松喜市

右頭書ノ中隊附ヲ命ス

二 歩兵中尉

藤田彦次

給一等級

三國守隊陸軍歩兵一等兵 山根三郎

管隊同 服部福三郎

陸軍歩兵上等兵ヲ命ス(七月九日附)

四春田隊陸軍歩兵上等兵 吉津徳雄

國守隊同 山根三郎

任陸軍機工伍長

菅隊陸軍歩兵上等兵 服部福三郎

春田隊同 市塚元勝

任陸軍電工伍長(七月十日附) 小松原部隊

五陸軍砲兵技術准尉 東辰巳

給一等級(七月一日付)

久會報

一不注意ニ起因スル通信線路障碍ト目サ
ル、毛ノ少カラサルニ鑑ミ通信部隊ニ

於テ線路構成ノ際考慮ヲ拂フハ勿論ナ
 ルモ各隊ニ於テモ友軍ノ通信施設保護
 ニ関シテハ特ニ注意スヘシ
 二爾今重機関銃小銃打穀藥莢ハ之ヲ改修
 後送セラレ、事ニサリタルニ付極力之
 ヲ採集シ彈藥ニ返納スヘン
 三関東軍防疫給水班本部並ニ病源檢索班
 ハ七月十八日七三一高地東南約ニ料ニ
 戦闘司令所附近ニ到ル
 四 歩兵上等兵 園 田 英 治
 七月十六日D衛生隊假編帶所ニ於テ死
 亡

歩兵上等兵(認識栗岡本部隊十六號)

森 脇 勝

(認識票セテ増セテ號)

松岡

勝

七月四日アムダロニ於テ死セシタルモ
所屬隊不明ナルニ付該當アラハ速ニ本

部ニ通報スヘシ

3 日々命令追加

一 歩兵軍曹

仲信二郎

歩兵上等兵

上田柳吉

同

山田昇一

歩兵一等兵

森本只一

同

永代芳信

右本日到着ス依テ夫々所屬ニ入ルヘシ

二 第五中隊 歩上

佐野壽美夫

以下四名

第三 MG	第十一中隊	第九中隊	第二 MG	第八中隊	第七中隊	第六中隊
步上	步上	步上	步上	步上	步上	步上
重	野口	立花	幸田	坂本	雨宮	山中
谷	橋	花	田	本	宮	中
以下六名	以下三名	以下七名	以下四名	以下三名	以下四名	以下四名
節也	直男	凡夫	新之助	良也	重定	讓

RIA

歩上

塩崎

以下二名

第三 TIA

歩上

山田

以下十名

通信隊

歩上

清水

以下十名

補充員七月十五日獨立第二十七大隊ヨ

リ當隊ニ轉屬セシニ付頭書ノ通り配屬

三 戦闘ノ景況戦闘詳報ノ如シ

四 使用地圖前日ノ如シ

五 人馬ノ移動

ノ現在員

一 將校

七七

戦死戦傷ナシ

七月二十日

曇時々雨
山口高地

2. 獨歩第二十七大隊ヨリ
木火討ニ引率セラレ到着ス
補充員六十五名程

三、馬匹

九八

二、准士官以下 一八〇六

行方不明 ナシ

補充 一

戦死 一〇

戦傷 一四

行方不明 ナシ

補充 九九

戦死戦傷 ナシ

行方不明 ナシ

補充 ナシ

1516

一作爲セル命令

1. 長作命第七十九號長野支隊命令(一三〇〇)

2. 長作命第八十號長野支隊命令(一八〇〇)

3. 日々命令

少尉候補者學科試験ハ來ル七月二十九日

三十日三十一日ノ三日間海拉爾ニ於テ實

施セララル

依テ受験者ハ左記ノ通り心得ヘシ

左記

1. 第一日(七月二十九日)參集時刻七時三十

分

2. 服裝 單獨ノ單裝略綬佩用

3. 場所 歩兵第六十四聯隊下士官集會所

4. 戦地ニ在ル受験者ノ海拉爾歸還ニ関シ

2

々會報

テハ別ニ示ス

一 敵狀ニ関スル報告ハ慎重ニシテ決シテ
 過大視スルコトアルヘカラス之レ上級
 指揮官ノ判断ヲ誤ラシムルコトアルハ
 ナリ

故ニ成シ得ル限り兵力ヲ明カニシ且敵
 トノ距離ヲ加フルヲ必要トスコト外所
 間場所動作及兵糧ハ勿論必要ナリ

二 速射砲及機關銃ハ陣地ヲ選定シ置キ遠
 蔽ニ勉メ敵ノ現出時不意ニ陣地ニ就カ
 シメ敵アラサル時ハ必ス遠蔽下ニ置キ
 損害減火ニ勉ムルコト

三 稜線上ハ決シテ通過スヘカラス止ムヲ
 得ス通過スルトキハ速カニ通過スヘシ

1518

二 戦鬪ノ景況戦鬪詳報ノ如シ
三 使用地圖前日ニ同ジ
四 人馬ノ移動

1 現在員
將校 七七

2 准士官以下 一八〇五

3 馬匹 九八

戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死
一〇	ナシ	二三	ナシ	一〇	三	ナシ	ナシ	一〇	三	ナシ	ナシ	一〇	三

六月二十一日

曇

山口高地

一作為セル命令

1. 長作命第八十一號長野支隊命令(三三〇)

2. 日々命令

一 陸軍歩兵曹長

同

行方不明ナリ
補充ナシ

東田平園
谷中田尾
秀政省
三人俊三

給一等級(七月十三日付)

二 陸軍歩兵伍長

同

給一等級(七月十三日付)

三 陸軍歩兵軍曹

立川 志磨夫

宮鈴 平木 知藤 雄吉

安仲 山仲 正一 弘

相場 好夫 桑野 末次

加藤 千代吉 福井 常三

堀田 玉康 本田 吉朗

木戸 重徳

海赤若仲田佐前荒黒武林福國中
老久
原間林原中間田木木田 象藤島
長梅梅新政 勇 哲哲九一隆七
三 三
三男郎三雄暲吉武郎大九彦義良

渡石齋平藤定伊進村上川
 邊井藤原田口村木藤藤神藤山目
 正五新正為勝宣秀 初正竹心定
 次郎志計登大明熟男巳雄丸夫
 15

豫備役歩兵軍曹

山尾 英雄
住本 勝太郎
火田 島 久
峯松 正藏

給 二等級(七月十三日付)

四 陸軍歩兵軍曹 金子 久男

給 三等級(七月十三日付)

五 各隊ニ在記藥品ヲ配布ス依テ各隊ハ人

員調査ノ上衛生兵ヲシテ磯村中尉武部

軍曹ノ許ニ受領セシムヘシ

在記

赤痢豫防治療薬ヘテロロゲン

右ハ各人六錠支給ス依テ服用ハ空腹

時毎食間ニ錠苑三回ニ水ニテ服用ス

ヘシ

2. クレゾール並脱脂綿

右ハ各隊衛生兵ヲシテ一定ノ容器ニ
備付ケシムルモノニシテ毎日便後
(便大便)必ス手指消毒ニ使用スルモノ
トス

右藥品受領ニ當リテハサイター空燻
一本携行スヘシ其他衛生兵ニ衛生材
料ヲ交付ス

3. 會報

- 一 彈藥集積所整理並ニ監視ノ為各大隊ヨ
リ工務兵ニ名宛本日正午迄ニ支隊本部
ニ差出シ前川軍曹ノ指示ヲ受ゲシムヘシ
- 二 出動中ノ營外者ニシテ俸給ノ受領方法
ニツキ左記ノ中何レヲ希望スルヤ各部

6

隊毎ニ調査シ取纏メ明二十三日八時迄
ニ報告スヘシ

左記

一 戦地ニ於テ毎月支給ヲ受ケタキモ
二 在海拉爾ノ蒙族ニ支給ヲ希望スルモ

三 内地ノ蒙族ニ支給ヲ希望スルモ

四 其ノ他

三 今次事件ニ際シ飛行第十一戦隊(第二第

四 中队欠)及飛行第二十四戦隊ニ對シ関

東軍司令官ヨリ感状ヲ授與サル

四 左記ノ者七月六日將軍廟附近ニ於テ行

方不明トナリ所屬部隊ニ於テ搜索中ニ

ツキ各隊中ニマダレ込ミアラバ速ニ報

告スベシ

左記

井置部隊配屬

歩兵第二十七聯隊聯隊砲中隊

歩兵一等兵 奥平金藏

五左記ノ者七月三日戦死シ師團衛生隊ニ

於テ「ブイ」高地七二一東南側地表ニ假埋

葬シ遺髪ハ該隊ニ保管シアルニ付該當

者アラハ速ニ報告スヘシ

左記

歩七一 歩兵上等兵 永妻茂

(認識票一七) 中橋定治

六常時一機ニテ低空ヲ飛行シアル複葉飛

行機ハ友軍機ナルニ付射撃スヘカラス

7

七 負傷者ノ後送ニ際シ其ノ携帶彈藥ハ必
 ス中隊ニ殘置スヘシ
 八 不發彈ハ極メテ危険ナル状態ニアルヲ
 以テ汲シテ午ヲ解ルコトナク之ヲ發
 見セハ直チニ幹部ニ報告セシメ幹部ハ
 適當ナル方法ニテ標示シ又ハ地中ニ
 米以上ノ穴ヲ掘リ埋没スヘシ
 九 攻撃實施ニ方リホルス「河及ハルハ
 河畔ニ到達スルコトアルモ敵ハ退却ニ
 際シ河川ニ毒物ヲ投入スルコトアルハ
 キヲ以テ給水班ノ配給スル水以外ノ水
 ハ絶對ニ使用セサル様注意スヘシ
 二 戰鬥ノ景況戰鬥詳報ノ如シ
 三 使用地圖前日ニ同ジ

四人馬ノ移動

一、現在員

一、將校

七六

二、准士官以下

一、七九七

三、馬匹

八八

補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
シ	シ	ニ	シ	五	シ	九	ニ	シ	シ	一	シ

3

2 二十一分第一歸團速射砲隊ノ配屬
ヲ受ク

藤榮中尉以下五十三名
岡崎中尉以下三十九名
五十六時過キ總攻撃ノ為ノ糧秣彈藥ノ集積概
不終了ス

六速射砲配屬

- I 四門(11)
- II 六門(71) 二門(49) 四門
- III 四門(8GF)
- 豫備隊 一門(8GF)

七月二十二日 曇

「七」四二高地

一 受領セル命令

攻撃延期ノ師團命令

二 作為セル命令

ノ日々命令

一 師團命令受領者トシテ曹長(軍曹)及傳令

二 通常正午支隊本部ニ差出スハシ

二 半三日 一中隊 二十四日 二中隊

二 二十五日 三中隊 二十六日 四中隊

二 二十七日 五中隊 二十八日 六中隊

二 二十九日 七中隊 三十日 八中隊

二 三十一日 九中隊 一日 十中隊

二 二日 十一中隊 三日 十二中隊

二 陸軍歩兵軍曹 瀨田 逸見

任陸軍歩兵曹長(六月二十四日附)

								三
								陸軍歩兵軍曹
							同	林
							同	堀江
							同	麻
							同	盛
							任歩兵曹長(七月三日附)	
							四	
							第六中隊	吾
							第九中隊	水
							第五中隊	坂
							第六中隊	竹
							第三機関銃隊	永
							第二中隊	丸
							陸軍歩兵伍長(七月三日附)	山
							第一中隊	井
							第二中隊	小
							歩兵砲隊	下

六	命	同	同	通信隊	第三機関銃隊	同	同	第十二中隊	第二機関銃隊	同	第六中隊	第一機関銃隊	同
第一中隊	陸軍歩兵上等兵(七月三日)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
衛生上等兵	村山	上田	山原	岡村	西島	野坂	小川	竹田	木村	石井	高橋	三島	本山
定	治	春	正	吉	足	義	利	澄	金	恒	照	正	義
0 巳	雄	男	雄	人	美	治	則	藏	貴	美	治	義	

記事項ニ関シ現在迄ノ情況並ニ今後ハ
其都度調査ノ上報告スヘシ

左記

1 撤布ノ時機(時刻明暗ノ度)
2 撤布手段方法(使用セル器材器撤布
方法等)

3 撤布範圍(撤布ノ經路地矣目標等)
4 撤布景況(散飛ノ中經散飛地域風向風
速等)

5 効果ノ概況(入手並届出動搖反響ノ有
無)

三 戦死傷者ノ背囊ハ現在支隊本部位置北
方砲兵陣地前ノ山陰ニ結束シテ隊号ヲ付
セル名札ヲ付ク集積スヘシ

其ノ他ノ分現在各隊ノ位置ニ結束シ集
 積シ置クハシ
 四携帶燃料ノ空罐ノ回収状況ハ不充分ナ
 リ各隊毎ニ取纏メ置キ何時ニテモ返納
 出來ル如ク準備シ置クヘシ
 五馬匹給水ノ至難ナルニ鑑ミ各隊ハ適宜
 馬繫場附近ニ井戸試掘ヲサシ給水ノ法
 ヲ講スヘシ
 三戦闘ノ景况戦闘詳報ノ如シ
 四人馬ノ移動
 現在員
 人將校

七五

戦死
 戦傷
 行方不明
 補充

1536

一 受領セル命令

七月二十三日

快晴
七四
高地

3. 馬匹

八六

2. 准士官以下
一七九六

補充	行方不明	戦傷	戦死	補充	行方不明	戦傷	戦死
ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ニ	五

2

2-219

1537

1 總攻撃開始ニ関スル要旨命令(一六〇〇)

2 攻撃續行ノ命令(一六五〇)

三 作為セル命令

1 總攻撃ニ関スル長野大佐訓示

2 會報

八時給水車到着スルニ付各隊ハ水筒ニ水

ヲ充分補充シ置クコト

水筒ノ水ハ出来ル丈愛惜檢用シ目的地到

着後ト雖モハルハ河及ホルステン河ノ水

ヲ絶對ニ飲用セサルコト

ハルハ河及ホルステン河ニハ敵退却ニ乘

シ毒物又ハ細菌ヲ投入スルオソレアリ

三 歩兵第七十一聯隊職員表(戦闘詳報附表ノ如

シ)

四 總攻撃敢行ナル

戦鬪ノ景況戦鬪詳報ノ如シ

五人馬ノ移動

ノ現在員

一 將校

七四

戦死 六三

戦傷 六

行方不明 ナシ

補充 ナシ

戦死 四三

戦傷 六二

行方不明 ナシ

補充 五四

戦死戦傷 ナシ

行方不明 ナシ

二 准士官以下 八四七

三 馬匹

八五

2. 歩兵第七十一聯隊(配屬ヲ含ム)死傷表戦闘
補充 + シ
詳報附表第一ノ如シ

七月二十四日

晴夜ニ入りテ雨
七四ニ高地

- 一 受領セル命令
1. 攻撃強行ニ関スル師團要旨命令(一〇、〇〇〇)
2. 攻撃ヲ無理セ又様師團ヨリ指示(一〇、四〇〇)
- 二 作為セル命令
長作命第八十二號支隊本部(三、二〇〇)
- 三 歩兵第七十一聯隊職員表(戦闘詳報附表ノ如シ)

四、戦鬪ノ景況戦鬪詳報ノ如シ

五人馬ノ移動

ノ長野大佐左大腿部ニ受傷東中佐代理トナル

2、現在員

一將校

六五

戦死 八

戦傷 四

行方不明 十

補充 十

戦死 八九

戦傷 一三八

行方不明 十

補充 十

戦死戦傷 十

行方不明 十

一准士官以下 一七五一

三馬匹

八五

3. 歩兵第七十一聯隊(配屬)の(含ム)死傷表戦關
詳報附表第一ノ如シ

補充
ケシ

七月二十五日

晴夜雨

七四三高地西北方ニ料

一、受領セル命令及通報

師團通報「ズンブル渡場ハ爆破サレ該方面

ヨリ火ナル兵力ノ進出ハ豫想セラレズ

二、作爲セル命令

ノ長作命第八十三號長野支隊命令(一三〇〇)

2. 長作命第八十四號長野支隊命令(一六四五)

三 歩兵第七十一聯隊職員表 戦闘詳報附表 如シ

四 戦闘ノ景況 戦闘詳報ノ如シ

五 入馬ノ移動

一 現在買
二 將校

五二

戦死 一

戦傷 一

行方不明 一

補充 九

二 准士官以下 一六二六

戦死 五

戦傷 一

行方不明 一

補充 一〇二

三 馬匹

八五

戦死 戦傷 一

補充
行方不明
ナシ

1544